

[都市政策・地域経済コース]

日 時	10月 9日(金)18:30～3時間程度
テ ー マ	「都市と商業まちづくり」
講 師	宗田 好史氏(京都府立大学教授)
略 歴	法政大学工学部建築学科、同大学院修士、京都大学大学院博士。イタリアピサ大学・ローマ大学院にて都市計画専攻。国際連合地域開発センター(UNCRD)主任研究員、京都府立大学教授。前副学長。
趣 旨	かつて身近な商店街が衰退し、その後老舗のデパートも撤退した。郊外大型店が客を奪ったといわれたが、その大型店の経営も今は厳しい。1990年代の中心市街地活性化のためのまちづくり三法には効果はなく、商業政策もすでに転換した。国民の生活が変わり消費が変わった。働き方も家族の形も変化している。この変化の先にある近未来の都市の姿を様々な角度のデータから探っていく。この変化は、Withコロナでさらに加速している。人口減少期には無駄になる公共投資を避けるスマートなまちづくりを学ぶ。
申 込 先	konagaya@osaka-cu.ac.jp
コ-ディネーター	小長谷 一之

[都市ビジネスコース]

日 時	10月29日(木)18:30～20:20
テ ー マ	『起業の科学』著者が語る新規事業7つのポイント」
講 師	田所 雅之氏(株式会社ユニコーンファームCEO)
略 歴	日本で4社、シリコンバレーで1社を起業した連続起業家。2014年から2017年までシリコンバレーのVCのパートナーとしてグローバル投資を行う。現在、スタートアップ経営や大企業のイノベーションを支援するUnicorn FarmのCEOを務める。
趣 旨	田所氏は、2017年発売以降115週連続でAmazon経営書売上1位になった『起業の科学 スタートアップサイエンス』、及び『御社の新規事業はなぜ失敗するのか？ 企業発イノベーションの科学』『起業大全 スタートアップを科学する9つのフレームワーク』の著者として、また新規事業アドバイス/メンタリング(2019年実績年間600回)や講演(同160回)を通じて、スタートアップやイノベーションを成功に導く科学的方法を伝えています。今回は、新規事業成功に必要な7つのポイントをわかりやすくご講演いただきます。
申 込 先	umehara@osaka-cu.ac.jp
コ-ディネーター	梅原 清宏

[都市行政コース]

日 時	11月6日(金)18:30～
テ ー マ	「事業仕分けの意義と進化」
講 師	伊藤 伸氏(構想日本 総括ディレクター(理事))
略 歴	同志社大学法学部卒。衆議院議員秘書、参議院議員秘書を経て、05年4月より構想日本政策スタッフ。09年10月から13年2月まで、内閣府参事官として行政刷新会議事務局のとりまとめや事業仕分けのコーディネーター等を担当。13年9月より法政大学法学部非常勤講師兼務。
趣 旨	「事業仕分け」は2009年に発足した民主党政権の象徴の一つでした。それゆえに、時には多くの「誤解」を受け、政権終焉とともに「終わったもの」との認識されがちなものでもありました。しかしながらこの「事業仕分け」は民主党政権が発足する以前からさまざまな自治体で実績が重ねられてきたものであり、また、現在においては、この経験を踏まえた新たな市民自治の手法が試みられています。今回は構想日本総括ディレクターの伊藤伸氏を講師にお招きし、この「事業仕分け」の歩みと意義、そして将来への可能性についてご講演をいただきます。
申 込 先	takano@osaka-cu.ac.jp
コ-ディネーター	高野 恵亮

[都市政策・地域経済コース]

日 時	11月13日(金)18:30～3時間程度
テ ー マ	「自然な食と農による地域活性化」
講 師	金丸 弘美氏(内閣官房地域活性化応援隊地域活性化伝道師、総務省地域力創造アドバイザー)
略 歴	内閣官房地域活性化応援隊地域活性化伝道師、総務省地域力創造アドバイザー http://www.banraisya.co.jp/kanamaru/home/index.php
趣 旨	農業で消費者のニーズをとらえコミュニケーションをしっかりと行ってきたところは経済と雇用を生んでいます。新型コロナの影響のなかでも何処も売り上げを伸ばしました。食べ方、レシピ提案をし、サイトも充実させたところは通販が販売を押し上げました。地方での空き家を利用した1棟貸し、食の体験ができる宿泊観光が人気になっています。オンラインの普及で、地方の移住も急増。産官学金融機関連携起業促進も出始め、食と農は、今、もっとも注目です。各地の具体事例を紹介します。地方創生は、これから注目です。
申 込 先	konagaya@osaka-cu.ac.jp
コ ー デ ィ ー ナ ー	小長谷 一之

[都市行政コース]

日 時	11月13日(金)18:30～
テ ー マ	「経営者の認知症対策」
講 師	勝 猛一氏(司法書士/勝司法書士法人 代表社員)東京・横浜・大阪の3拠点
略 歴	大阪市立大学大学院修士課程終了。(一社)民事信託監督人協会理事、(公社)成年後見センター・リーガルサポート会員。著書には小説『相続請負人』、『経営者の認知症対策』共著(日本法令)、2021『任意後見の実務(仮称)』予定(日本加除出版)等。
趣 旨	人生100年時代、医療の進歩で寿命は伸びましたが、脳はついて行っていない。認知症は避けることができない時代です。会社の経営者が認知症になると家族、従業員とその家族、取引先、融資先金融機関までもが大きな影響を受けることになります。会社の支配者としての立場のまま認知症になることは、個人と比較にならないほど重大な問題です。経営者の高齢化に伴い事業承継が社会問題になっています。その対策として「任意後見と民事信託の組合せ」を中心にお話します。
申 込 先	hisasue@osaka-cu.ac.jp
コ ー デ ィ ー ナ ー	久末 弥生

[都市ビジネスコース]

日 時	11月19日(木)18:30～20:20
テ ー マ	「サテライトワークによるビジネス展開」
講 師	笹本 正明氏(株式会社ブックスタンド 代表取締役)
略 歴	大阪市立大学大学院創造都市研究科修士課程修了(修士(都市ビジネス))。リフォーム会社での経験を元に2009年7月に独立し、インターネット広告会社・ブックスタンド社を創業。2011年に法人化。2016年より徳島県美波町にサテライトオフィスを開設。
趣 旨	コロナウィルスの拡大に伴い、サテライトワークの重要性が高まりつつある半面、資源・体制・ノウハウの不足する中小企業では、十分に浸透していない状況です。本講演では、本研究科OBである、株式会社ブックスタンド 代表取締役・笹本正明氏をお招きし、ご講演頂きます。同社は2011年の法人化後、2016年に徳島県美波町にサテライトオフィスを開設するなど、積極的にサテライトワークを取入れております。本講演を通じて、中小企業のサテライトワーク導入とそれに伴うビジネス展開の秘訣に迫ります。
申 込 先	shindo@osaka-cu.ac.jp 折り返し、参加方法をお知らせします。
コ ー デ ィ ー ナ ー	新藤 晴臣

[都市政策・地域経済コース]

日 時	11月20日(金)18:30～3時間程度
テ ー マ	「丹鉄が目指すMaaSとは」
講 師	寒竹 聖一氏(WILLER TRAINS株式会社 代表取締役社長)
略 歴	1982年日本航空入社。旅客サービス、パイロット養成、契約交渉、関連会社の経営管理等の業務を担う。2011年よりツアーバス連絡協議会事務局長としてバス事業の統一を完遂後、外資系空港関連会社の日本代表を歴任。2016年現職に就任し、鉄道を軸とした地域の価値向上を目指す。
趣 旨	MaaSの定義、それぞれの展開地域によってMaaSの形はさまざま、このコロナ禍で、状況、環境の変化にも対応していくことも必要。あらためて、MaaSとは、そして丹鉄は何を目指しているのか。MaaSがもつ、交通革命、まちづくりの可能性について語ります。
申 込 先	endonhd@osaka-cu.ac.jp
コーディネーター	遠藤 尚秀

[都市行政コース]

日 時	11月24日(火)18:30～
テ ー マ	「都市行政の最先端と大都市制度」
講 師	高野 恵亮(大阪市立大学大学院都市経営研究科教授)、久末 弥生(大阪市立大学大学院都市経営研究科教授)、五石 敬路(大阪市立大学大学院都市経営研究科准教授)、水上 啓吾(大阪市立大学大学院都市経営研究科准教授)
略 歴	高野 恵亮(法政大学大学院社会科学部研究科博士後期課程修了・博士(政治学)。2018年より現職。)久末 弥生(北海道大学大学院法学研究科博士後期課程修了・博士(法学)。2018年より現職)。五石 敬路(東京大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学、修士(経済学)。2018年より現職)。水上 啓吾(東京大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学、博士(学術)。2018年より現職)。
趣 旨	都市経営研究叢書第2巻『都市行政の最先端』、同第5巻『大都市制度をめぐる論点と政策検証』の刊行を記念して、シンポジウムを開催します。複雑化する都市部の諸課題に取り組むために、都市行政の役割は多様化してきています。シンポジウムでは現代社会において都市行政が直面する課題のうち社会的に話題となったテーマを取り上げ、大都市制度のあり方と関連付けながら論じていきます。未来社会の都市生活を支える行政システムは、どのように変化するのでしょうか。近未来の具体的なイメージと可能性について、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。
申 込 先	mizukami@osaka-cu.ac.jp
コーディネーター	水上 啓吾

[都市政策・地域経済コース]

日 時	12月4日(金)18:30～
テ ー マ	「現代アート入門 ― 映像編」
講 師	山城 大督氏(美術家・映像作家)
略 歴	美術家・映像作家。Nadegata Instant Party。1983年大阪府茨木市生まれ 京都市在住。京都芸術大学専任講師。株式会社Twelve代表取締役。
趣 旨	初心者や一般の方にも、現代アートをわかりやすく理解していただく講座「現代アート入門―映像編」を、新進気鋭の若手映像作家の山城大督氏をお迎えして、開催します。現代アートは、社会を映す鏡だとも言われます。最近では情報化社会を反映して、映像が手法として多く用いられています。自身の作品紹介を交えながら、現代アートの面白さやアートの社会的意義などを語っていただきます。コロナ禍で先が見えない今、現代アート&映像の今後の可能性についても話を広げていただければ幸いです。
申 込 先	下記PEATIXより事前申込(参加料無料) https://peatix.com/event/1691789 申込と引き換えに、視聴ページをお知らせします。
コーディネーター	吉田 隆之

[都市行政コース]

日 時	12月11日(金)18:30～
テ ー マ	「日本のセーフティネットの何が問題なのか」
講 師	松本 淳氏(大阪市立大学大学院経済学研究科)
略 歴	1971年、神奈川県生まれ。1999年、慶應義塾大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。2007年、大阪市立大学大学院経済学研究科准教授、2018年、大阪市立大学大学院経済学研究科教授。
趣 旨	日本の社会保険制度を中心とした社会保障制度は危機と呼ばれて久しい状況です。年金・医療を中心とした社会保険制度は制度間財政調整のみでは機能せず、租税(国庫負担)を投入し続けなければならないとなっています。一方で租税を財源とした福祉には財源がいき渡りにくい状況が続いています。さらに日本的と言われた家族・地域・カイシャの機能も急速に変化しています。こうした状況をいかに乗り越えていくかという問いを受講者の皆様とコミュニケーションを図りながら考えていきます。
申 込 先	mizukami@osaka-cu.ac.jp
コ-ディネーター	水上 啓吾

[都市行政コース]

日 時	12月19日(土)15:30～
テ ー マ	「都市行政と子ども支援」
講 師	塩川 悠氏(社会福祉士)、海老名 ゆりえ氏(大阪府内小規模保育園園長)、小田 美奈子氏(公立幼保連携型認定こども園勤務)、森 久佳氏(大阪市大大学院文学部研究科 准教授)
略 歴	塩川 悠(2020年大阪市立大大学院都市経営研究科修士課程修了)、海老名 ゆりえ(2019年大阪市立大大学院創造都市研究科修士課程修了)、小田 美奈子(2015年大阪市立大大学院創造都市研究科修士課程修了)、森 久佳(2005年大阪市立大大学院文学研究科後期博士課程修了。博士(文学))。
趣 旨	本研究科修了生を中心に『子ども支援とSDGs:現場からの実証分析と提言』(明石書店、2020年)を上梓しました。この本には、社会人大学院で学んだ者ならではの現場の問題意識、経験、情報が盛り込まれています。今回は、就学前の子どもたちの保育・教育、就職を控えた若者への就職支援など、子ども・子育てに関する幅広い観点からの現状、課題とともに、社会人大学院とはどんなところかについて、それぞれの視点で論じて頂きます。コメンテータとして、共著者の森久佳先生をおむかえします。
申 込 先	goishi@osaka-cu.ac.jp
コ-ディネーター	五石 敬路